

SAPPORO BROWN-BEAR FORUM



入場
無料

定員300名
(先着順)

さっぽろ

ヒグマフォーラム

平成31年2月8日 金 14:00~17:10 (開場13:30)

市民ヒグマ講座



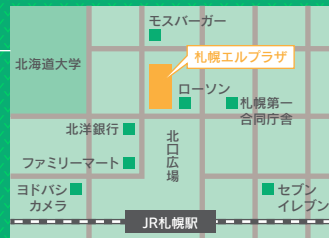
ヒグマ対策でまちおこし!?

~サル対策から学ぶ、これからのヒグマ対策~

会場

札幌エルプラザ
3階ホール

札幌市北区北8条西3丁目



基調講演

鈴木 克哉 氏 NPO法人 里地里山問題研究所 代表理事

フォーラム
討論会

佐藤 喜和 氏 酪農学園大学 教授

早稲田 宏一 氏 NPO法人 EnVision環境保全事務所 研究員

金網 良至 氏 札幌市環境局環境都市推進部環境管理担当課長

近藤 麻実 氏 北海道立総合研究機構 研究主任

大坂 収 氏 南区役所市民部総務企画課長

主催

札幌市

参加
申込

TEL: 011-222-4894 / FAX: 011-221-4894 (札幌市コールセンター)

<http://www.city.sapporo.jp/callcenter/uketsuke/>

札幌市 インターネットでお申し込み可能な事業 で検索すると簡単です。

申込方法は
裏面をご覧ください。

みらいを思う
Think Green
環境首都・札幌

さっぽろ市
02-J02-18-2301
30-2-1444

さっぽろ ヒグマフォーラム

ヒグマ対策でまちおこし!? ~サル対策から学ぶ、これからのヒグマ対策~

PROFILE



NPO法人 里地里山問題研究所 代表理事

鈴木 克哉 氏

獣がい対策で地域を元気に!
多様な担い手で創る人と野生動物の未来

1975年(昭和50年)、和歌山県生まれ。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)。前職の兵庫県立大学/兵庫県森林動物研究センターでは、地域主体の獣害対策や住民支援体制の整備に従事。2015年に退職し、現在は兵庫県篠山市でNPO法人里地里山問題研究所(さともん)を設立。「獣がい対策で地域を元気にする」を合言葉に、行政や関係団体と連携しながら、地域に根差して獣害対策と地域活性化を両立的に支援するソーシャル・ビジネスのモデル確立を目指している。

主な著書

動物たちの反乱(分担)、半栽培の環境社会学(分担)、なぜ環境保全はうまくいかないのか(分担)、どうすれば環境保全はうまくいくのか(分担)他



酪農学園大学 教授

佐藤 喜和 氏

地域主体でヒグマ侵入を未然に防除:
構えず楽しく持続的に
~石山地区における取り組み~

1971年(昭和46年)、東京都生まれ。北海道大学農学部卒業後、東京大学大学院博士後期課程修了、博士(農学)。現在、酪農学園大学野生動物生態学研究室教授。1998年から北海道浦幌町を中心に白糠丘陵に生息するヒグマの生態と保護管理に関する研究を行っている。また、近年は国後島・択捉島に生息する白いヒグマの研究も行っている。日本クマネットワーク副代表、浦幌ヒグマ調査会事務局長、北海道ヒグマ保護管理検討委員。

主な著書

日本のクマ(分担)、ヒグマ学入門(分担)、The Wild Mammals of Japan(分担)他



NPO法人 EnVision環境保全事務所 研究員

早稲田 宏一 氏

札幌市のヒグマ出没状況と
地域における課題

1974年(昭和49年)、兵庫県生まれ。北海道大学在学中に青井俊樹氏(現岩手大学教授)らと、苫小牧地域において捕獲されたヒグマに発信器を付け追跡調査研究を実施する。以後、環境省・北海道・市町村からの委託等による、ヒグマ・エゾシカ等野生動物の調査研究・被害対策・普及啓蒙活動に従事する。現在、特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所研究員。札幌市のヒグマ出没対応や対策に参画の他、小学生を対象にした「ヒグマ講座」講師。

主な著書

日本のクマ(分担)他



北海道立総合研究機構 研究主任

近藤 麻実 氏

安全はみんなで作るもの:
急がば回れのヒグマ対策

1984年(昭和59年)、三重県生まれ。岐阜大学農学部卒業後、同大学大学院連合獣医学研究課博士課程在籍中に道総研へ就職。学生時代はツキノワグマの生態調査や管理計画策定のための個体数推定に関わる。現在はヒグマの保護管理に関する研究や普及啓蒙を行っている。クマたちとの付き合いはツキノワグマから数えて16年目、ヒグマに関わり始めて9年目。日本クマネットワークニュースレター編集委員。

さっぽろ ヒグマフォーラム 参加申込

申込期間

2019年1月22日(火)~2月6日(水)

札幌市コールセンターから
(年中無休、8:00~21:00)

TEL:011-222-4894 / FAX:011-221-4894

ウェブサイトから

<http://www.city.sapporo.jp/callcenter/uketsuke/>

札幌市 インターネットでお申し込み可能な事業 で検索すると簡単です。

氏名・電話番号をお伝えください。

FAX・ウェブサイトから申し込まれる方につきましても、上記申込事項の記載をお願いします。

定員300名・要申込・先着順(定員になり次第締め切ります)